

Ibaraki Association of Architects & Building Engineers

けんちく茨城

No. 83 October, 2013

[特集]

茨城県建築士会
青年女性委員会

4つの夏物語

[建築作品紹介]

大野ふれあいセンター



一般社団法人
茨城県建築士会

目次

[特集]	茨城県建築士会青年女性委員会 4つの夏物語	1
[報告]	茨城県建築士会・茨城県建築士事務所協会合同開催 「大納涼会」開催される!	8
[建築作品紹介]	大野ふれあいセンター	10
[シリーズ]	先輩会員を訪ねて 入江 幸子氏、一本杉 文男氏 インタビュー	13
[トピックス]	高槻一雄常務理事の国土交通大臣表彰を祝って	14
[会員委員会報告]	第23回チャリティゴルフ大会開催される!	15
	第6回ボーリング大会開催される!	15
[総務委員会報告]	県庁支部チームが見事に初優勝! 第37回ソフトボール大会(県大会)	16
[竜ヶ崎支部報告]	アサリは小さかったけれど… 皆で大いに楽しんだ潮干狩り!	17
[坂東支部報告]	「子どもフェスティバル」で未来の建築家を発見!	18
[ひたちなか支部報告]	市街地小規模開発の申請についてわかりやすく解説 都市計画法関連講習会を実施	19
[県央支部報告]	工学院大学建築学部教授 鈴木俊彦氏講演会 「ル・コルビュジェの建築プロダクトデザイン」	20
	作りたいものを、自由に、真剣に。「作ってみよう木工」が人気です!!	21
[女性委員会報告]	ラブアークセミナー 「水戸市植物公園散策・季節の寄せ植え教室」 「“大平洋が一望できる駅”を見に行こう!」	22
	わくわくセミナー 「高齢者の転倒を防ごう!」 「塗装について」	23
[短期連載 第1回]	「ヘリテージマネージャー育成研修2013」体験記。	24

会報 **けんちく茨城**

題字 **橋本 昌** 茨城県知事

2013年10月 第83号

表紙写真 **大野ふれあいセンター**

設計・監理 アトリエ10 一級建築士事務所
所在地 茨城県鹿嶋市津賀1919-1
建築面積 1,970.08㎡
延床面積 2,689.22㎡
構造・規模 鉄筋コンクリート造
一部鉄骨鉄筋コンクリート造
地上2階建て

発行 平成25年10月8日(年3回発行)

次回発行 平成26年2月4日予定

発行部数 2,650部

発行所 一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸
〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F
TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330
Eメール kyy05413@nifty.com

編集 情報・広報委員会

デザイン 有限会社平井情報デザイン室

印刷所 株式会社あけぼの印刷社



関プロ 青年建築士協議会千葉大会

茨城県建築士会 青年女性委員会



「みんなの家」の家具づくり

4つの夏物語



「青年女性委員会」へと組織改編して、2度目の夏。
それまでの青年部、女性部が持っていたそれぞれの良さが相乗し、
よりアクティブでバリエーションに富んだ活動につながりました。
2013年の暑い夏に行われた、4つの熱い活動をご紹介します。



水戸駅前清掃活動



「釜石市災害復興公営住宅 計画のプロセスと建築の社会性」セミナー

はじめに

報告：青年女性委員会委員長 飯島洋省

2012年度より、それまでの青年部・女性部から「青年女性委員会」へと組織改編して、1年半が経ちました。この間、それまでの女性部が持っていた活発な活動の波に、青年部の祭り心をミックスし、お互いの良いところを引き出し合い、試行錯誤を繰り返しながら、少しずつ楽しい事業の枠を広げてきました。

結果、建築実務の糧となるバラエティに富んだ「わくわくセミナー」、「ラブアークセミナー」に加え、地域の子供たちとの「木のワークショップ」や東北「みんなの家」への家具製作設置寄贈、「ゴミ拾い活動」に「釜石市災害復興公営住宅 計画のプロセスと建築の社会性」と題したセミナーの開催など、建築士だからできる社会・地域との取り組み・活動の実現に至ることができました。

建築士会は、設計者、施工者、技術者、公務員、教育者、コーディネーター等、建築実務に関わる立場の

違う専門家がひとつに集まる唯一の団体です。このようなさまざまな企画を通して、「よりよい建築」への共通の志を持った仲間が集まって活動するネットワークを築いていくことが、建築士会青年女性委員会メンバーそれぞれにとって、一番の財産になっていくと考えています。

今後も、魅力ある企画・事業を多数計画しています。青年女性建築士としての地域・社会との取り組みや建築実務につながる専門性に特化した企画、建築士としての素養を高める企画、そしてもちろん親睦をもっともっと深めるための企画など、事業の充実を図っていきたく考えています。

こういった活動を行いながら、会の“窓口”のひとつとして、建築士会の魅力のPRと新規会員勧誘活動につなげていきたいと思っていますので、今後ともご支援ご協力のほどどうぞよろしくお願い致します。



茨城会は
「審査員特別賞」を
いただきました!

第1話

平成25年度関東甲信越建築士会ブロック会 青年建築士協議会千葉大会

6月28日(金) 千葉市アパホテル&リゾート東京ベイ幕張
報告：李相鉄

去る平成25年6月28日、千葉県にあるアパホテル&リゾート東京ベイ幕張にて、「平成25年度関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会千葉大会」(以後関係プロ)が盛大に開催されました。毎年1回、1都9県が主催を持ち回りして開催されるこの大会。今回は、開催県がお隣の千葉県ということもあり、茨城からは60名近くが参加し、全体で500名を超える士会会員が参加する、とても賑やかな大会となりました。

千葉大会のテーマは「建築士会力」。私たちはそれぞれの地域で建築業務に携わりながら、建築士会員としても日々活動しています。その中で体験したことや得た知識を、社会に向けて何らかの形で役立てるといことは、とても大切なことだと思います。

「建築士会が提供できる力」「建築士会に入会することで得られる力」を再度見つめ直し、建築士会の役割とメリットを再認識することで、いっそう地域社会に貢献できるのではないかと

ということから、この大会テーマが決められたのだと思います。

「子供たちと1/2軸組模型を造ろう!」を題材に

大会プログラムは、開会を兼ねた全体会議Ⅰから始まり、第一分科会から第三分科会、全体会議Ⅱ及び閉会と一日を通して行われます。翌日にはワークショップやエクスカーションもあり、盛りだくさんの内容です。

その中でも第一分科会は、大会テーマに沿った活動報告を



今後も「建築士会力」を
発揮できるような活動を
続けていきたいと思ひます。

発表を担当した横須賀氏と小貴氏。「お陰さまで審査員特別賞を受賞することができました。今後も“建築士会力”を発揮できるような活動を続けたいと思ひます」と横須賀氏。



土浦支部からも多数のメンバーが参加。チーパくんと記念撮影



各都県が発表するというもっとも注目度の高いプログラムです。しかも審査員の投票により各賞が決められるため、毎年、各都県とも注力し、趣向を凝らしたとても楽しい発表内容となっています。

個人的には、それぞれの地域活動に優劣は存在しないと考えていますが、大会を通して他県の活動を知り、その中でも地域社会に貢献できる優れた手段を学べるということを考えれば、順位や賞によって共通の認識を得ることも大切なのかも知れません。

今年、その第一分科会では、私が所属する県央支部が主体となって行ったイベント『木・ふれあい活動/木のワークショップ:子供たちと1/2軸組模型を造

ろう!』について取り上げました。いろいろなテーマを受けて行ったこのイベントですが、簡単にいえば、茨城の木の魅力を再認識し、利用促進を図ることを目的としたイベントの一環として企画されたものです。

子供たちと軸組模型を造りながら、本物の木に触れ、上棟に至るまでの過程を体験してもらうことで、木造建築の良さ・造形ができていっていき楽しさを感じてもらえればという趣旨で行いました。

建築もイベントも 人の力が集まってこそ

3月から準備に取り掛かり4月にはイベントを実施。建築は、企画から設計、施工、そして竣

工まで、多くの人の力が注がれ辿りつきますが、それと同様に、このイベントも、企画をたてる人・設計図を描く人・イベント会場を確保する人・木材を加工する人・イベント当日の準備に携わる人・発表資料を作成する人など、多くの建築士会会員がそれぞれに役割分担し、力を合わせることで初めて、当日を無事に迎えることができました。

さらには、地元の大工さんや子供会の親御さんたち、そして参加してくれた多くの子供たち一人一人の力が合わさって、イベントを成功に導いてくれました。

そして、気が付けば、関ブロ大会テーマに直結して、第一分科会で発表するにふさわしいイベントとなっていたのです。

トラブルを抱えつつも、 チーム力で乗り切る

その後、6月の関プロ千葉大会の直前まで、ひたすら発表準備を行うこととなりました。

発表担当者には、イベントに計画の当初から参加し、発表用原稿やパワーポイント、動画編集に至るまで、一番力を注いでくれた県央支部青年・女性部の横須賀さん・小貫さんが選ばれました。関プロ当日、本番でも、横須賀さんのテンポの良い語りで、イベントの空気そのままの楽しい発表になったと思います。

準備された機材との相性の問題で、子供たちのインタビュー動画の一部が流れなかったものの、ある男の子の「将来は建築士になりたいです!」という音声

は、会場全体に響き渡りました。

じつは、大会当日の朝からすでにこの動画トラブルが発生することはわかっている、動画編集やパワーポイント作成を担当した小貫さんと千葉県建築士会の映像担当の方々との絶妙な連携で、問題を最小限に抑えることができました。これも個々の力が集まることで成し得たうれしいできごとでした。

茨城会の発表は、『審査員特別賞』をいただきました。終わったあとは結果を気にすることもなくなりましたが、今あらためてふり返ると、最優秀賞と同じくらい、嬉しい賞をいただいたと思っています。

今回のイベントを立ち上げた飯島委員長、イベント全体を統括した県央青年・女性部の盛田

部長、平沼部長のほか、携わった会員の皆の力、まさに「茨城の“建築士会力”」が評価されたということだと思います。

こうして、私にとっては7回目となる関プロが終了しました。どちらかという観覧者としての要素が強かった今までの大会に対して、今年は違う角度から参加することができました。

いずれにしても関プロに参加して一番大切なことは、他県の取り組みを学ぶこと、パワーを感じ、それをエネルギーにして自身のスイッチをONにすることだと思います。来年は東京大会。東京にも多くの青年建築士が集結し、地域社会に貢献できる情報を交換しあい、「建築士会力」をさらに高めていける大会となることを期待しています。❖



千葉大会実行委員長
青山 貴仁氏

青年建築士協議会会長
酒井誠氏

千葉県建築士会会長
岡崎直之氏

日本建築士会連合会会長
三井所清典氏

千葉県知事
森田健作氏

第二分科会、第三分科会でも
熱心な議論が交わされました。

岩沼市の「みんなの家」にて。
家具の設置、無事完了！

第2話

被災地「みんなの家」の家具づくりに参加。

7月1日(月)～7月8日(月) 宮城県岩沼市玉浦地区 ほか
報告：村松 勤也



もうあれから2年半が経過してしまいました。東北のボランティアに参加しようと思っただけでしたが、地元での対応で精一杯でそれどころではありませんでした。

しかし、今回、ある友人から良い話をいただきました。「みんなの家」プロジェクト＝伊東豊雄さんをはじめ、山本理顕さん、内藤廣さん、隈研吾さん、妹島和世さんによる「帰心の会」が中心となり、被災地各地に人々が集えるコミュニティの場所を提供しているプロジェクトへの協力依頼です。

今回は津波で被害が大きかった宮城県岩沼市玉浦地区に建設される「みんなの家」の家具づくりを手伝うことになりました。

主な家具は2400×600×850のテーブル2台、キッチンの吊戸棚、

iPadをのせるカウンター、竹の縁台。材料は飯島委員長のはからいで小池住建さんに檜の集成材を用意していただきました。7月10日の竣工式に間に合うよう、7月1日に伊東豊雄建築設計事務所の方にも来ていただき、大工さん3名を含む建築士会土浦支部を中心とした8名で作業を開始しました。

夕方から深夜まで作業し、2日かけ完成させました。設計者と施工者が話し合いながら、試行錯誤して完成させた家具は、当初の計画とは異なる形。しかし、それは互いの意見が重なりあった結果の、とても良いものとなりました。

7月8日、宮城県岩沼市にある「みんなの家」を目指して午前3時に茨城を出発し、午前8時に現地に到着。建物の規模は約8.5間×3間、屋根は切妻、一面に約1.5間の

下屋が出ていて、軒は低く、内部の土間は三和土で作られていて、かまどが設置してあり、壁は土壁塗り。昔の家屋を連想させる懐かしいイメージ。個人的にはプレカットで作ってあるのが残念でしたが。

かなり慌ただしい作業でしたが、現地の業者さんの手伝いもあり午後2時ごろに設置作業は終了。間際に土間のかまどに初めて火が入り、地元のお米「玉浦ガンバット米」を使ったおむすびが配られ、空腹と充実感もあり、格別な美味しさを味わわせていただきました。

作業終了後、伊東さんの代表作、仙台メディアテークを見学。改めて建築の楽しさを噛みしめて帰宅。

後日、伊東さんに茨城での「みんなの家」の実現をお願いする機会も得て、建築に携わる者として良い経験をさせていただきました。❖

私

たち、県建築士会青年女性委員会は、建築士の日(7月1日)にちなみ、翌週の土曜日に当たる7月13日に、水戸駅南口で駅前清掃活動を行いました。

午後1時に駅南口ペデストリアンデッキに青年女性委員会の会員、各支部の代表、賛助会、学生など73名が集合、駅南口を中心にゴミ拾いを行いました。参加者の中には、一般道や桜川周辺まで足をのばし、広い範囲のゴミを拾う人もいました。ほとんどのゴミは、ペットボトルや空き缶、コンビニ弁当の包装などで、購入した人がしっかり処分していれば発生しないゴミ。結果として、大きなゴミ袋3つ分ものゴミを集めることができました。

また、今回も駅前清掃に加えて、

緑化推進・CO₂削減を目的とした「苗木の配布」も行いました。

苗木はヒメクちなシとサツマベニ、コデマリの三種、計100本を配布し、同時に花の種も配布しました。当初は、道行く人に声をかけ、手渡しすることに戸惑う様子の参加者も見られましたが、徐々に慣れて、今回のイベントの主旨である「建築士会の活動のPR」をきちんと行うことができました。

土曜日の昼間ということもあり、学生たちが多く、なかなか話を聞いてもらえないケースもありましたが、めげずに皆が笑顔で対応し、予定より早く配布を完了することができました。

今回の取り組みは、建築士法が施行された7月1日を記念して制定された「建築士の日」にちなみ、関東甲信越建築士会ブロック会の

1都9県の青年建築士協議会が昨年から取り組む一斉活動の一環として計画されています。

私たち県建築士会青年女性委員会としては、今回で3回目の実施、地域活動の初動と位置づけて、清掃活動や苗木配布などを計画し、地域・社会貢献と社会的アピール活動を目的としています。

建築士会の活動は、まだ一般に広く、正しく伝わっていない部分もあり、建築士会そのものを知らない人たちもいます。

「行動は言葉より雄弁」といいます。私たち青年・女性委員会から行動を起こし、飯島委員長を中心に青年女性委員会らしさあふれる活動をこれからも繰り広げ、地域社会に対し、建築士会の存在や活動を積極的にアピールしていきたいと思えます。❖

第3話

有志73名で「駅前清掃」を実施し、建築士会をアピール!

7月13日(土) 水戸駅南口周辺
報告:盛田 周作

ゴミ拾いのあとは、苗木配布。
会の活動をPR!



「釜石市災害復興公営住宅」のプロジェクトに学ぶ。

7月13日(土) 水戸駅エクセルホール
報告：櫻井 充



TeMaLiアーキテクトの3氏。
左から松野勉氏、山下保博氏、水上健二氏

3氏の建築に対する
真摯な姿勢が
非常に印象的でした。



東 日本大震災により、筆舌に尽くし難い被害を受けた、岩手県釜石市。市の災害復興公営住宅計画の一般公募型全国公開プロポーザルで、最優秀賞を受賞された設計チーム「TeMaLi(てまり)アーキテクト」の3氏を招き、計画のプロセスと建築の社会性について講演していただくセミナーが行われました。当日は、建築士会会員から学生、一般の方まで、県内を始め、遠くは東京、栃木、静岡、広島から、合わせて120名近くが詰めかけ、熱心に講演に耳を傾けました。

「TeMaLiアーキテクト」は、山下保博氏(株式会社アトリエ・天工人代表)、水上健二氏(株式会社Ma設計事務所代表)、松野勉氏(ライフアンドシェルター社代表)からなる共同設計チームです。

この日は、現在進行形である釜石復興公営住宅計画の、プロポーザルからワークショップを通じた基本計画策定までの経緯や設計プロセス、そして、プロジェクトを通して取り組んだ新しい建築の創り方について、説明いただきました。釜石で行なわれた地元の方々とのワークショップにおいて、実際に建てる住戸の一部をダンボールを使って原寸大で再現した事例では、映像を用いながら、どのようにして限られた時間の中でユーザーである住民との意識の共有を行い、住民の要望を肌で感じ、設計に生かしていくかなどを説明いただきました。

その後、山下氏、水上氏、松野氏による、それぞれの活動について、実例を交えて説明が行われ、これからの建築とは何か、これか

らの建築家とは何か、3人それぞれの思いが披露されました。

質疑応答では、釜石での取り組みや個々の活動へについての質問が多く寄せられましたが、中でも、高校生の参加者による「建築家としての信念は?」という鋭い質問と、それに対して、真摯に回答する3人の講演者に対し、会場から大きな拍手が送られました。

その後の懇親会では、より近くで講演者との意見交換を行なうことができ、良い刺激を得ることができました。

釜石復興公営住宅は、2014年の年末に完成予定です。今後、セミナーの延長として、建物竣工時に有志を募って現地を訪れ、計画の一連の流れを体験し、災害復興への取り組みを学ぶ企画も実施する予定です。❖

茨城県建築士会・茨城県建築士事務所協会 合同開催

大納涼会

平成 25 年 7 月 26 日(金) 17:00～
水戸市・ホテル テラス ザ ガーデン 水戸

開催される!



夏の恒例行事となった第8回大納涼会が7月26日(金)、「ホテルテラスザガーデン水戸」において開催された。本年度も茨城県建築士事務所協会との合同開催となった。今回は、来賓、会員、賛助会員、建築士事務所協会からの参加者を含めて223名の参加者があった。

両会を代表して柴会長が挨拶に立ち、先に行われた衆議院、参議院選挙とも自民党の圧勝に終わり、今後の安倍政権に景気回復を期待するが、依然として我々を取り巻く状況は厳しいこと、この状況を打開するためにも、皆で方策を考えていきたいなど、今後に向けての抱負を述べた。

来賓挨拶では、衆議院議員梶山弘志氏、参議院議員長谷川大紋氏、茨城県議会議員白田信夫氏、茨城県議会議員海野透氏、同石川多聞氏、同西野一氏、そして7月の選挙で参議院議員に初当選された上月良祐氏より、それぞれ挨拶をいただいた。また、県の三課より土木部建築指導課長大津氏、同営繕課長山田氏、同住宅課長江原氏にも出席いただいた。

続いて、茨城県建築士事務所協会主催の第2

回デザインプロポーザルコンペの表彰式が開催され、会の共催者である茨城県建築士事務所協会の横須賀会長から最優秀賞、優秀賞の受賞者に表彰状が贈られた。その後、賛助会代表幹事の大竹氏(フジクリーン茨城)の乾杯の発声により祝宴に入り、来賓及び建築士会・建築士事務所協会の会員、賛助会員が一堂に介して交流を図る有意義な機会となった。祝宴は盛況のうちに進み、建築士事務所協会賛助会代表幹事の山崎氏(山忠)による中締めにより終了した。

(報告: 情報・広報委員会委員長 浅野 祐一郎)



梶山弘志
衆議院議員



白田信夫
県議会議員



海野透
県議会議員



石川多聞
県議会議員



長谷川大紋
参議院議員



西野一
県議会議員



上月良祐
参議院議員



柴和伸
本会会長



式次第

- 開会の言葉
- 主催者あいさつ
- 来賓あいさつ
- 来賓紹介
- 乾杯
- 中締め



茨城県建築士事務所協会の横須賀満夫会長より第2回デザインプロポーザルコンペの表彰が行われた。

矢作建設グループには 2600 件以上の
耐震補強実績があります。



矢作建設工業株式会社

www.yahagi.co.jp

本 社 / 〒481-0004 名古屋市中南区 3-18-7
 東京支店 / 〒104-0040 東京都中央区 2-2-5
 TEL: 03-3666-3410 FAX: 03-3666-3018

大野ふれあいセンター

『出会い』『集い』『学び』の3つの機能を集約した
新しく親しみやすい市民活動の拠点施設



南東面全景

計画の背景

大野ふれあいセンターは、まちづくりセンター（公民館）、市役所出張所、図書館からなる複合施設です。

建設地は、県道242号銚田鹿嶋線から北浦側に700mほど入った、旧大野村役場と中央公民館があった場所で、周辺には中学校、消防署、銀行などがあり、大野地域の中心に位置し、地域づくりの拠点になっているところです。旧施設はともに老朽化が目立ち、改修、機能改善が図られてきました。

しかし、これからの多様な住

民サービスや行政サービスに対応し、さらに図書館機能の拡大を図るために、三つの機能を集約し、複合的な概念を取り入れ、利用者の利便性の向上をめざし、親しみやすく新しい大野地域の活動拠点づくり、発信地を目的とした施設が求められるようになりました。

地域の拠点となる施設として

市民活動に新たな相乗効果をもたらすことを目的とし、市民参加の建設検討委員会と市役所関連部署からなるワーキングチーム、さらに施設活用についての住民

アンケートを実施し、基本設計時点から協働で協議を重ね、コンセプトづくりを行いました。

そして、『出会い』『集い』『学び』をテーマに公民館、市役所、図書館の三つの機能が、互いに複合して役割を果たすことができるように計画しました。

エントランスから入ると、待合ホールを挟んで市役所出張所とまちづくりセンター（公民館）があり、訪れた人々が互いに出会える場としています。さらに続くホールは多目的ホールと調理実習室に面し、展示ホールとして地域の憩いの場となっています。そして1階



『集い』——多目的ホール



『出会い』——左：待合ホール／右：展示ホール



『学び』——図書館

の動的な空間に対して、静的な場とした2階を吹抜けでつなぎ、外壁面をカーテンウォールにすることで前面の広場と一体感のある大きな空間を作っています。この待合ホールと展示ホールを『出会い』の中心に位置づけ、『集い』の場としての多目的ホール、調理実習室や創作室へと続く動線にしました。

2階は『学び』としての図書館、学習室、会議室、和室を配置し、AV室は音響を考慮し離れた位置にあります。吹抜けを介して展示ホールとつながっているため、一体感のある場所になって

います。

駐車場の縁石を排除して高低差を無くすことで、夏祭り、商工祭りなどの地域イベントが行え、施設と地域がいっしょになって作る『出会い』と『集い』の、大きな「広場」としての活用が可能です。さらに、災害備蓄倉庫と調理室と広場を連続させることにより、イベントや災害時の炊出しに迅速に対応でき、地域の防災拠点としての機能も備えています。

「バリアフリー法」に基づく特定建築物の施設として、人にやさしい環境作りや、氷蓄熱による空調方式の採用、また屋根に

降った雨を貯水し、夏場の温度上昇を防ぐために屋上散水をする機能と、樹木の散水ができる設備も備えています。

加えて、隣接する既存の保健センターを改修し、地域の団体が利用できる別館施設として一体化を図り、さらに大きな施設としての利用ができるようになっています。

地域の象徴であった旧庁舎のイメージを外観デザインの中に引継ぎ、地域の歴史・文化を継承しつつ、この地域のシンボルでもあり、永く親しまれ、市民活動の拠点となる役割を持った施設です。

大野ふれあいセンター

設計・監理 **アトリエ10 一級建築士事務所**

主要用途 鹿嶋市役所大野出張所
鹿嶋市大野まちづくりセンター
(鹿嶋市立大野公民館)
鹿嶋市立中央図書館大野分館

所在地 茨城県鹿嶋市津賀 1919-1

発注者 鹿嶋市

施工 清水建設(株) 関東支店(建築)
根本電興(株)(電気)
中山設備工業(株)(機械)

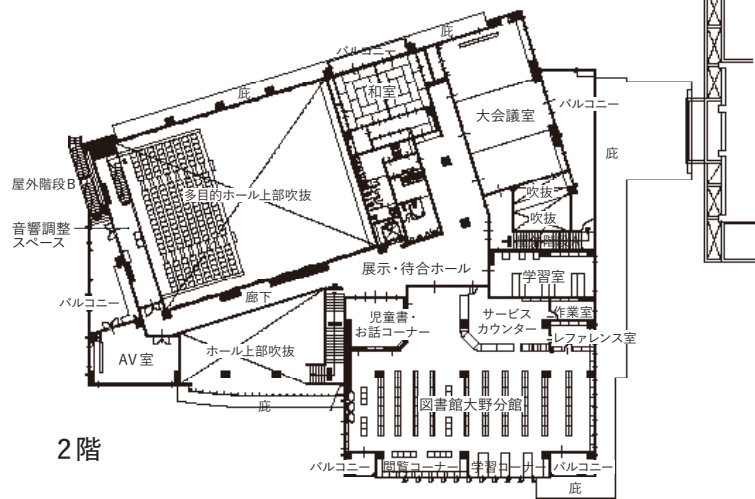
竣工年月 平成23年1月

敷地面積 10,342.46㎡

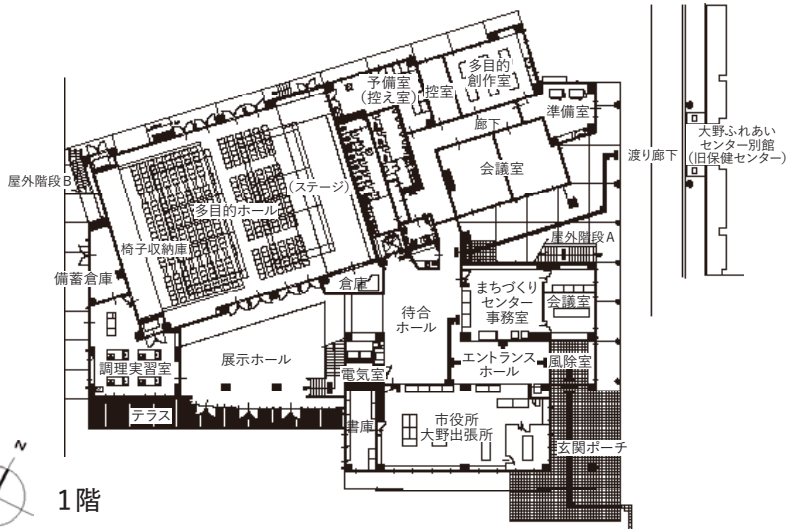
建築面積 1,970.08㎡

延床面積 2,689.22㎡

構造規模 鉄筋コンクリート造
一部鉄骨鉄筋コンクリート造
地上2階建て



2階



1階



アトリエ 10

一級建築士事務所

主宰 **加藤 茂**

〒14-0038 茨城県鹿嶋市木滝154-1

TEL 0299-82-9031 FAX 0299-82-9039

E-mail ateller@nopia.or.jp

<http://www.supla.or.jp/ateller>

士会会員として長きにわたり活躍されてきた先輩方を訪問し、お話を伺うコーナー。第21回となる今回は、土浦支部の入江 幸子氏と、筑西支部の一本杉 文男氏を訪問し話を伺いました。
聞き手＝情報・広報委員会 齊藤 保弘、谷島 正憲



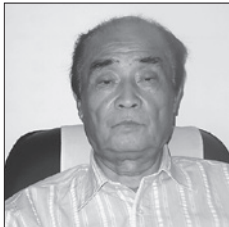
「絆があって、初めて社会が成り立つものと思います」

入江 幸子氏（土浦支部）
昭和4年生まれ／昭和30年頃入会／会員歴58年

[主な経歴] 土浦市手野町生まれ。昭和22年県立土浦第一高等学校を卒業後、父親の経営する入江建設に入社。昭和25年ごろに現住所に移住し、のちに2級建築士の資格を取得。昭和30年頃に建築士会に入会し、建築土木業一筋を歩み続ける。支部活動としては、土浦支部長を平成2年から平成7年までの3期6年間務める。温厚篤実な人柄で知られる先輩会員。

——建築士会の活動で印象に残ることは？
「会員の拡大に力を注いだことが一番印象に残り

ます。当時は現在のような資格取得学校が地元になかったため、建築士取得セミナーなどを支部で開催して資格取得の奨励にも当たりました」
——趣味として続けていることはありますか？
「ゴルフを本格的に始めるつもりだったのですが、残念ながら腰を痛め、続けられなくなってしまいました」
——後輩へのメッセージをお願いします。
「今も昔も人と人の絆が大切。絆があって初めて社会が成り立つものと思っています。助け合いの心をつねに忘れずに、家庭に仕事に、そして士会活動に、力を注いでいってほしいと思います」



「地元の13社でJVを組みまとめた事業が印象に残ります」

一本杉 文男氏（筑西支部）
昭和12年生まれ／終身会員／昭和37年入会／会員歴51年

[主な経歴] 県立下館第一高等学校を卒業後、国鉄新潟鉄道管理局へ就職。下館土木事務所勤務の後、一本杉設計事務所に入社。真壁支部（当時）の支部長であった父の勧めで建築士会へ入会。以降、本会の下館支部支部長、県西協議会会長、副会長、相談役を歴任し、支部及び会全体の運営に大いに貢献。現在も後輩たちを見守り、設計業界のますますの発展をひたすらに願う先輩会員。

——支部長時代の活動で印象に残ることは？
「市総合体育館の基本設計を、支部の設計事務所に呼びかけ、13社のJVを組んでまとめたことで

す。“地元の企業なのに地元が受注できない”という危機意識から、皆で一緒にチャレンジしました。それから、下館工業高校へ講師派遣したことも良い思い出です。高校の授業の時間に合わせるため、皆のスケジュール調整が大変でしたが、生徒と一緒に現場を見学し、業務の厳しさを体験してもらったりしました。設計競技会で生徒たちが全国銀賞を受賞したときは、皆で喜びました」
——これからはどのような活動を？
「建築の無料相談などに携わりながら、これまで時間がなくてできなかった旅行や古い建物巡りなどを、ゆっくりしていければと思っています」

高槻一雄常務理事の 国土交通大臣表彰を祝って

平成 25 年 8 月 23 日(金) 水戸市・山口楼

(有)高槻建築設計事務所代表の高槻一雄氏が、7月に国土交通大臣表彰の栄に浴された。

高槻氏は(一社)茨城県建築士会常務理事および(一社)茨城県建築士事務所協会理事として両会の事業運営に積極的に取り組み、会員の技術向上に努め、組織基盤の強化に貢献された。その受賞を記念しての祝賀会が、本会柴和伸会長、建築士事務所協会会長横須賀満夫氏、根本日出男氏、羽石英夫氏、舟幡健氏ら有志を発起人として8月23日に水戸市の料亭にて開催された。

当日は士会、事務所協会のメンバーを合わせて57名が参加。初めに発起人代表である柴会長が挨拶、続いて事務所協会会長横須賀氏より高槻氏の人柄などにふれた挨拶があり、記念品及び花束が贈られた。高槻氏からは、「永年続けてきた努力が認められ光栄に存じます。今後も会の発展のため精進してまいります」と挨拶があった。会はなごやかに進み、羽石氏の中締めにより終了した。



ホテルグループ
水戸プラザホテル

Tel. 029-305-8111 (代表)
〒310-0861 茨城県水戸市千波町2078-1

第23回チャリティゴルフ大会 開催される!

平成25年6月18日(火) 富士カントリー笠間倶楽部

個人の部		
優勝	酒井 丈夫 (県庁支部)	ネット73.4
準優勝	黒澤 利勝 (県庁支部)	ネット74.0
3位	青山 立美 (土浦支部)	ネット74.0
ベストグロ	青山 立美 (土浦支部)	グロス80.0

団体の部	計	
優勝	県央 A 渡辺・小沼・早川・和田	グロス359.0
準優勝	賛助会 和知・笠井・鈴木・仙北谷	グロス371.0
3位	北相馬 稲葉・上村・坂巻・佐藤	グロス373.0
4位	土浦 青山・篠原・中村・塚本	グロス375.0
5位	筑西 黒川・大吉・柴・上形	グロス377.0



チャリティと会員の親睦を目的とした恒例行事「チャリティゴルフ大会」が、6月18日(火)、笠間市・富士カントリー笠間倶楽部において開催されました。当日は天候にも恵まれ、各支部から正会員、賛助会員入り混じっての106名が参加。全18ホール、新ペリア方式で熱戦が繰り広げられました。結果は左表の通りです。プレー終了後は、懇親会を兼ねた表彰式が倶楽部内レストランにおいて開催され、参加者の笑顔が広がりました。



第6回ボーリング大会には、各支部から会員、賛助会員合わせて61名が参加。根本会員委員会副委員長より主旨説明があり、その後武村副会長の始球式によりゲーム開始! ガターあり、ストライクありでゲームは楽しく和気あいあいと進み、個人戦では、2ゲームを投げトータルスコアー328で武村副会長(桜川支部)が優勝しました。また、団体戦では上位3名のトータルスコアー875を記録した桜川支部Aが見事優勝しました。

第6回ボーリング大会 開催される!

平成25年8月24日(土) 水戸グリーンボウル

個人の部	スコア(2ゲーム合計)	
優勝	武村 実 (桜川支部)	328
準優勝	潮田 充 (筑波支部)	303
3位	萩谷 孝一 (県央支部)	300
4位	坂本 淳 (土浦支部)	296
5位	阿部 義博 (賛助会)	287

団体の部	スコア(上位3名合計)	
優勝	桜川支部A	875
準優勝	県央支部D	822
3位	土浦支部	780



県庁支部チームが見事に初優勝!! 第37回ソフトボール大会(県大会)

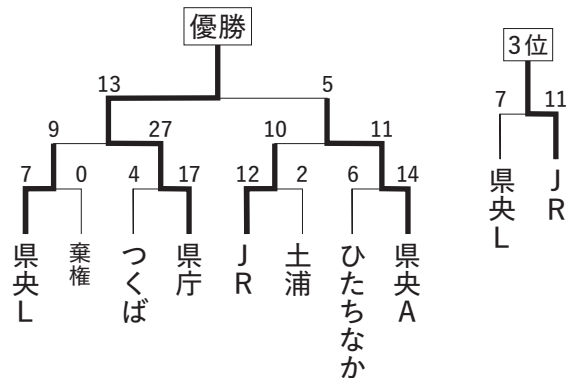
若さ溢れるプレイで見事初優勝を勝ち取った県庁支部チーム

平成25年9月1日(日)、水戸市元石川グラウンドにて、第37回ソフトボール大会(県大会)が開催されました。

残暑厳しいなか、県内各地域の予選を勝ち抜いた総勢7チームによるトーナメントが行われ、伯仲した熱戦が展開されました。各チームとも精一杯力を出しきったのではないのでしょうか。

今大会優勝に輝いたのは、若い選手層でその勢いを見せつけた県庁支部です。決勝戦でも、13対5と、県央Aチームから大量得点を奪い、優勝の栄冠を勝ち取りました。県庁支部の皆さん、おめでとうございます。お忙しいところ各支部から参加していただいた皆さん、ありがとうございました。来年の38回大会でも、また皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

最後になりますが、大会準備をされた県央支部の皆さん、また、協賛いただいたセンター印刷(株)様、(助)経済調査会様、明治安田生命保険(相)様、(助)茨城県建築センター様、ご協力いただいた方々、選手、事務局の皆さんに感謝申し上げます。ソフトボール大会(県大会)の報告といたします。



富士カントリー倶楽部

名譽会費特別「キャンペーン」実施中

通常 630,000円 → 315,000円
今が入会チャンス!!

〒302-1802 茨城県水戸市元石川 6-2-2 6F
TEL 0298-72-8111 FAX 0298-72-8224
URL <http://www.fusacountryclub.com>
Eメール info@fusacountryclub.com 必ずお読みください



アサリは小さかったけれど… 皆で大いに楽しんだ潮干狩り！

現地では絶好の行楽日和に。「晴れ男」幹事のお陰です!!

8月6日(火)、大潮の日をねらい、千葉県富津海岸へ潮干狩りに行ってきました。今年で2回目となる行事です。会員とその家族、お子さんやお孫さんまで含めた総勢18名の参加でした。

道中佐倉から市原くらいまでは雷を伴う雨にみまわれましたが、幹事が「晴れ男」のおかげで、現地に着くころには雨も上がり絶好の行楽日和となりました。

車中ではビンゴゲームで楽しみ(豪華景品!!)、ちょうど潮が引いたところに海に入ることができました。大人の皆さんも童心に帰って夢中で貝を獲り、潮が満ちだしても気づかずしばらく戻らない方もいたほどです。

ただし、肝心のアサリは、去年と比べると粒が小さくシジミと見間違ふようでしたし、量もそれほど多く獲れた方はいなかったようです。残念…。

しかし、他のグループではハマグリを大量に獲られた方もいました。場所によるんですね。残念…。

昼食は、海岸近くでおいしい海鮮丼をいただきました。お店の方が、「8月は潮干狩りには遅すぎですよ」と言っていました。家族、お子さんたちにも参加しやすいようにと夏休みに企画したのですが…。残念…。

帰りは、お土産に海の幸を買い込み、楽しい一日となりました。幹事さん、皆さん、ありがとうございました。

当支部は、会員が減少傾向で催事へ参加される方も偏り気味ですが、より魅力ある支部を目指して事業を企画し、活気にあふれる、楽しく有意義な支部を目指しています。



京セラソーラー FC 水戸 ~ For Future Children ~
株式会社 ハース (ライフア水戸)

代表取締役 柳下文江

(本社)水戸市東原2-3-26 (元吉田店)水戸市元吉田町1250-15
TEL 029-247-8000 FAX 029-246-3200
URL <http://www.lifamito.com>



「子どもフェスティバル」で未来の建築家を発見！

どの子供も夢中になってこんなにいい顔を見せてくれました！

毎年、ゴールデンウィーク明けの日曜日に中央公民館で開かれる「坂東市子どもフェスティバル」。建築士会で参加するようになって僕の知る限り7年。いつも快晴で会場は子どもたちでごった返し毎年大盛況だ。出店が並ぶなか、子どもたちは小銭をにぎり夢中で歩きまわる。一角では演武やダンス、オセロや吹奏楽も行われ、さながら縁日である。

そのようななかで、建築士会はオリジナルプレート、折り紙建築、木工体験などで参加。子供たちと一緒に絵を描き、一緒に組み立て、平面が立体になることに一緒に感動しながら、『ものづくり』への“興味”をプレゼントしている。

オリジナルプレート

会員が用意したカンナの掛かった杉板に、好きな絵を描き、それを目の前で好きな形に切り抜き、好きな色のリボンを通して完成。とにかく女子に大人気！

毎年200枚程さばける。

折り紙建築

こちらも女子に人気！これは僕的には意外だった。一部の大人は食い入るように見つめ、手に取る。坂東市長もその一人。

木工体験

椅子やティッシュボックス、巣箱など、会員が一緒になって組み立てる。くぎ打ちが醍醐味。男子に人気！であったが近年は女子もちらほら。

参加した子供たちの多くが「楽しかった〜!」とか「こんなのできたよ〜」と親に駆け寄っていく。頭で考えたことが実際のものになった達成感からであろう。中でも、作るのがうまいヤツ、得意なヤツっている。そんな彼らの得意満面な様子を見ながら、将来ぜひ建築界で活躍して欲しいと思った。

設備設計・監理

(一社)日本設備設計事務所協会会員
(一社)茨城県設備設計事務所協会会員



菊地設備設計事務所

所長 菊地 繁

事務所 / 〒310-0081 茨城県水戸市大工町2-4-24 ハイジマビル

TEL 029 (227) 2720(代)

FAX 029 (227) 2744



市街地小規模開発の申請についてわかりやすく解説 都市計画法関連講習会を実施

ワークプラザ勝田での講習風景

ひたちなか支部では、平成25年7月23日(火)ひたちなか市のワークプラザ勝田において「都市計画法関連講習会」を開催しました。

今回は、ひたちなか市役所建築指導課より中山建築指導課長をはじめ、担当職員3名の方にお越しいただき、数多くの方が関わっていると思われる市街地調整区域内の、特に住宅や店舗などの小規模開発関連に的を絞って講習をしていただきました。法令、条例関係の表面的な解説ばかりでなく、実際に即した事例なども含めた内容で、日頃の業務に速戦的に役立つ、非常に実のある講習会となりました。

まず始めに建築指導課長より、ひたちなか市の事務処理市となった経緯や小規模開発行為の傾向及び許可件数などの話を含め、ご挨拶をいただきました。次に講習会に入り、第1部「申請から許可及び完了検査までの流れについて」、第2部「開発許可の基準につい

て」、第3部「許可申請の審査及び現地調査における指導事項等について」、以上の3部構成で行われ、それぞれ担当者から解説していただきました。

この講習会のために、豊富なオリジナルの資料を作成していただき、あらためて許可申請業務の「いろは」を教わったような気がしました。審査においてよくある指摘事項や書き方まで、個人的にも身に覚えのある項目が多数出てきました。さらに、講習の最後には、当支部の会員でもある、東海村役場都市政策課長補佐の庄司氏に、本年4月より事務処理移譲となった東海村の条例及び現状等についてのお話も伺うことができました。この講習会が、参加された会員の皆様に少しでも役に立つものとなれば幸いです。

最後に、資料作成及び講習会当日にも貴重な時間を割いていただきました、ひたちなか市役所建築指導課の皆様、東海村担当の皆様にご感謝申し上げます。

ノベルティグッズの定番品といえばコレ!!

オリジナルデザイン可能
小ロット発注可能

クリアファイル
メモ帳

お見積りやサンプル提供は無料です。まずはご連絡ください。
[クリアファイル・メモ帳の件で]お問い合わせください。

☎029-227-5505

株式会社 あけぼの印刷社
〒318-0004 茨城県ひたちなか市1-3-11 東海村ビル
<http://www.shikano-print.co.jp>



工学院大学建築学部教授 鈴木俊彦氏講演会

「ル・コルビュジェの建築プロダクトデザイン」

県央支部では2度目となる鈴木氏の講演会

前回のフランク・ロイド・ライトに続き、建築界の巨匠コルビュジェについて講演をいただいた。

まず「建築プロダクトデザイン」とは何か、続いてコルビュジェのプロダクトデザインについて、時系列で整理し解説いただいた。

時期としては、①コルビュジェと名乗る前 ②コルビュジェと名乗り、ピエール・ジャンヌレと共同事務所開設 ③シャーロット・ペリアンが参画 ④コルビュジェひとりになる、の4期。

具体的なデザインの例としては、①建築プロダクトデザイン ②エスプリ・ヌーボー館の家具(カジェ・スタングール/家具を「設備」と呼ぶ) ③建築の機能を併せも

つ家具/建築家具 ④パリのアパートマンの扉収納(扉+収納でありまさに建築の機能を併せもつ家具である) ⑤カップマルタンの小屋(建築全体がプロダクト)、以上を写真や画像でわかりやすく説明いただいた。

結論として建築の機能(間仕切りのような)を併せ持つ家具が、空間を創る。さらに都市と建築を語ると同時に、空間を機能させる家具を語る必要がある。コルビュジェはこの両方を横断的に計画したことを、鈴木氏は強調された。

今後の展望として、「建築プロダクトデザイン」は、ロボット化(知能化)に向かうと説明されたことも、興味深かった。

アーストラベル水戸(株) BTM

・・・旅のサポートお任せください・・・
(研修旅行・視察旅行・業務出張)

〒310-0804 茨城県水戸市白樹3-6-11
TEL 029-297-9010
FAX 029-224-9566
担当 稲葉 英二

遮熱性能NO.1 JAXA認証品
環境エコ遮熱塗料「プロツバル」施工店

《塗装の知恵袋》

有限会社 **アカオギ塗工**

代表取締役 赤荻 弘

〒310-0836 水戸市元吉田町1745-15
TEL 029-247-4325 FAX 029-248-4788
Email trt@wish.ocn.ne.jp
HP <http://tosou-akaogi.blogdehp.ne.jp/>



作りたいものを、自由に、真剣に。 「作ってみよう木工作」が人気です!!

あちこちで親子の真剣な共同作業が繰り広げられます

県央支部企画委員会では、水戸市植物公園がゴールデンウィークに実施している「植物公園フェスティバル」期間中の2日間に、「作ってみよう木工作」と題したイベントを実施しています。興味を持ち、立ち寄った方に木工作を自由に楽しんでいただくという企画です。

参考図面や完成見本を見てイメージが固まったら、準備してある材料の中から各自必要な物を拾い出します。その材料に差し金と鉛筆で墨を付け、それを刻んで組み立てていきます。道具の使い方がわからない方、途中で困っている方がいた時のみ、補助員(委員会メンバー)がサポートし、完成まで導きます。

最初は、お子さんが興味を持って立ち寄られるケー

スが多いのですが、作り始めると、お父さんが、お母さんが手を貸し(手を出し?)、最後は一家そろっての共同作業になって一つの作品ができあがります。委員会メンバーの厳しい検査の上、合格した作品のみ「完成を認めますよ!」の意味でブランド印(茨城県建築士会県央支部の印)を押印します。お子さんががんばって作った物をお父さん、お母さんは捨てませんから、一般の家庭に末永く残るPR活動だと思えます。

「できた〜!!」って嬉しそうに持ち帰る子どもたちの後ろ姿を見ていると、こちらも「ゴールデンウィークにがんばって良かった〜!!」ってうれしい気持ちになります。



人にやさしい 地球にやさしい

ISO9001(Certificate Number Q041)

暁飯島工業

代表取締役社長 荻津仁彦
水戸市千波町 2770 番地の 5
電 話 029-244-5111 (代)

安心とくつろぎをお届けする

有限会社 亜細亜警備保障

〈施設、イベント、駐車場、巡回、交通誘導〉

代表取締役

尾崎 嗣 朗

本 社 那珂郡東海村舟石川 845-4
〒319-1111 TEL 029-282-7056 (代)
FAX 029-282-7017

E-mail: asia_keibi-bajien@eos.ocn.ne.jp

女性委員会報告
照山 由美子
下条 和子



ラブアークセミナー

「水戸市植物公園散策・季節の寄せ植え教室」 「“太平洋が一望できる駅”を見に行こう！」

楽しい寄せ植え教室

「水戸市植物公園散策・季節の寄せ植え教室」

梅雨の時期に珍しくすっきり晴れた6月2日。水戸市小吹町にある清掃工場の余熱利用施設として造られた水戸市植物公園が会場です。1987年オープンの古い公園ですが、入口のオーバブリッジから段々に下がって行く先には落水・花壇・カスケードから水面にスイレンの花が咲く池へとアプローチされ、来訪者を次々に美しい風景へと誘う仕掛けがいくつも組み込まれています。集合するや否や、勉強熱心な私たちは講師の方を質問攻め。植物の名前から特徴、類似の種類など聞きながら、露壇式庭園から観賞温室に至るまでを見廻る散策は実に楽しいものでした。さて、寄せ植え教室ですが、なるほどと呻る寄せ植えの仕掛けを教えていただきつつ、同じ素材ででき栄えの異なる作品に笑いが絶えない教室となりました。好奇心が満たされた、充実したセミナーでした。(照山)

「“太平洋が一望できる駅”を見に行こう！」

7月のラブアークセミナーは、日立駅の見学会でした。

工事監理に携わったJR東日本水戸支社の方に、設計者のこだわりや施工時の苦労話を聞きながら案内していただきました。床から天井へ抜ける風、床の仕上げ、目地の本数、ガラスの割付け、見通せる天井などなど。そして、竣工直前に起こったあの地震のこと、1枚だけ割れたガラスのこと、1本の柱についてなど、建築にかかわる者同士ならではの話題で大いに盛り上がりました。

新しい日立駅は、ガラス張りの壁が水平に広がる軽やかな建物で、まっすぐに伸びる自由通路の先には太平洋が広がります。「こんなに海が近かったんだ」と実感する駅でした。(下条)

◆地質調査業登録 質24第1684号 現場から解析まで自社で実施！

現場と技術と共に歩む 地盤のエキスパート

株式会社 岡村地質

代表取締役 岡村 篤

〒315-0035 石岡市南台3丁目1-11
TEL:0299-26-5717 FAX:0299-26-6497
URL: http://www.mito.ne.jp/~okamura/

★メガソーラー発電施設工事 全国で受注中！

■営業品目■

〈地盤調査〉スウェーデン式サウンディング試験・標準貫入試験
〈地盤改良工事〉表層改良工事・柱状改良杭工事 (HITSコラム工法)・鋼管杭工事 (SMD杭工法)

〈沈下修正工事〉鋼管杭圧入工法・耐圧版工法・土台上げ工法・曳家工事

〈土木工事〉一般土木設計・施工

〈メガソーラー発電工事〉

基礎工事・パネル設置工事

■加盟団体■

社団法人 都市開発協会

全国住宅地盤協会

日本住宅保証検査機構認定店

社団法人 茨城・静岡・愛知建築士会

NPO法人 静岡県住宅検査協会

イトン 株式会社

【本社】静岡県焼津市吉永1017-1 tel 054-664-2381

【神栖営業所】茨城県神栖市溝口1689-1(宅建ビル内) tel 0299-94-8810



わくわくセミナー
「高齢者の転倒を防ごう！」
「塗装について」

視野狭窄の体験

「高齢者の転倒を防ごう!～建築と看護の視点から～」

セミナーは、まずウォームアップから始まりました。実際の転倒事例について原因を探ります。出席者がいくつかのグループに分かれて話し合い、発表をしましたが、的確な意見が出たことに感心しました。

そして在宅高齢者の事故調査報告を分析した結果、「転倒には8つの背景があり、それらがいくつか重なった時に起きていると推定される」とのことでした。

看護の先生からは、加齢に伴う身体的影響について説明があり、視野狭窄、視力低下の擬似体験ができるメガネが配布され、参加者は皆、熱心に資料を見ていました。

私たち建築をつくる立場としては、転倒が起きないような住環境の改善が求められますが、大事なのは人であり個人差があるということ、自覚と見守りの姿勢が大切であると思いました。(赤木)

「塗装について」

7月のわくわくセミナー「塗装について」は、設計者から施工者までさまざまな業種職種の受講者の方が、日頃より抱く塗装に関する疑問や問題をできるだけ解消できるよう、塗装職人兼塗装監督、工務店の現場監督、塗料商社、塗料メーカーと、大勢の講師の方にご協力ご教鞭いただきました。そのお陰もあって、塗料の種類、効果と用途、材料別にみる塗料の選別方法、塗装と下地施工についてなど、基本から応用まで、また幅広い塗装内容を学べる素晴らしい機会となりました。資料も充実しており、受講者の方からも「内容資料共に豊富で嬉しかった」「ぜひ第二回を!」など嬉しいお言葉をいただきました。これからは建築知識をより深められるセミナーに参加できれば良いと思います。(関口)

スドー黑板

日本工業規格表示認定工場 JIS S 6007(黑板) ML0306001
 ISO 9001:2008 認証取得
 ほうろう白板連関認定工場 No.0024
 建設業国土交通大臣許可(内装仕上工事業)第20397号

株式会社須藤黑板製作所

〒132-0035 東京都江戸川区平井7丁目17番35号
 電話 03(3617)8701(代)
 FAX 03(3616)0811

早さと正確をモットーに
より美しく、より創造的なプリントワークをめぐして

センタ印刷株式会社

〒310-0817 水戸市橋町1丁目1番1号
 TEL 029-224-4635 FAX 029-225-6007

「ヘリテージマネージャー育成研修2013」体験記。

かねてから歴史的建造物に深い愛情と情熱を寄せてきた情報・広報委員会の加藤 誠洋委員が、「ヘリテージマネージャー育成研修2013」を受講しながら、研修の様様とその意義を3回にわたりお伝えします。

昨年につづき2期目となる茨城県建築士会による、いわゆるヘリテージマネージャー育成研修について、研修内容やなぜ茨城でこのような専門技術者を“いま”建築士会が育成しなければならないのか、1年に渡って記事を書いてみます。

今回の研修、正式名は「いばらき地域文化財専門技術者育成研修」といいます。とても覚えづらいですね。なのでここでは一般に浸透している呼び名“ヘリテージマネージャー育成研修”と表記することにします。

ヘリテージマネージャーは、平成7年の阪神・淡路大震災をきっかけに地域にある歴史的建造物の保全を目的に平成13年、兵庫で始まりました。現在、全国の建築士会のうち、ヘリテージマネージャー育成に取り組んでいるのは15の県で、10県が取り組みを検討中です（現在のところ都道府は、なし）。

さて、茨城県では先の東日本大震災によって歴史的建造物や文化遺産が被害を受けました。

まさに、阪神・淡路大震災をきっかけに誕生したヘ

リテージマネージャーの状況と同じといえます。たしかに、被災した文化財の修復も重要な課題ではありますが、それ以外にもヘリテージマネージャーを社会が必要とする状況があります。たとえば歴史的な建造物は地域の特徴を現す貴重な資産であって、それが価値を見いだされずに消滅してしまうことは大きな損失になるでしょう。

今回の育成研修は、ヘリテージに何が可能かを1年間じっくり考える場でもあります。（加藤）



<h3>コンクリート構造物【土木・建築・設備】調査試験</h3> <ul style="list-style-type: none"> ■ 特殊建築物等調査 <ul style="list-style-type: none"> 外壁立断定 ・窓外観調査 ・立断調査 ■ 調査診断・管理補修工事 <ul style="list-style-type: none"> コンクリート内部調査 ・X線透過試験 ・RCレーザ成膜 ■ 設備検査工事 <ul style="list-style-type: none"> 管内内視調査 ・ファイブスコープ ・X線透過試験 <p>日本非破壊検査協会（非破壊サーモグラフィ試験） 日本非破壊検査協会（放射線（X線）透過試験） 日本非破壊検査協会（コンクリート内部調査試験）</p>			<h3>鉄骨工事</h3> <ul style="list-style-type: none"> ■ 検査部 <ul style="list-style-type: none"> ・超音波探傷 ・磁気探傷 	
<h3>鋼管・PHC杭工事</h3> <ul style="list-style-type: none"> ■ 検査部 <ul style="list-style-type: none"> ・超音波探傷 ・X線透過試験 ・磁気探傷 			<h3>土木・構架工事</h3> <ul style="list-style-type: none"> ■ 検査部・アンカー部 <ul style="list-style-type: none"> ・鋼管PHC杭、鋼管杭、鋼管杭 ・アンカー部、埋込鋼管杭 ・アンカー部、埋込鋼管杭 	
<h3>非破壊検査</h3> <p>土木、土木RC構造 鋼管、クラック・腐食 非破壊検査など</p>	<h3>RC内部調査</h3> <p>RC内部調査 調査・診断 非破壊アンカー部検査など</p>	<h3>X線透過試験</h3> <p>コンクリート内部調査 調査・RC管・VP管 X線透過試験など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東京大学検査部員受任 (tsunamaki@tsukuba.ac.jp) ・日本建築協会 0174 認定 (www.nippon-kakou.co.jp) ・日本非破壊検査協会 JRA 認定 (www.jra-nippon.com) 	
<p>TEL 029-222-2270 FAX 029-223-2946 E-Mail kenbuang@helon.co.jp</p>				

進化を続ける外壁材 アイジーヴァンドシリーズ

全国ならではのシャープなテクスチャーと、優れたフラットネス、
加えて低熱伝導性など省エネ効果の観点から、
高いエネルギー性能と高い耐湿性を併せ持つ最新エネルギーを削減します。
求められる性能に合わせて最適な組み合わせるように
豊富なラインナップをご用意しております。



アイジー工業株式会社

〒999-3716 山形県東根市蟹沢上綱目 1816-12 TEL: 0237(43)1810
URL: <http://www.igkogyo.co.jp/>



建築と住まいのことなら! 一般財団法人 茨城県建築センター

住まいづくりに関する情報を一元的に提供しています。迅速な対応とともに、サービスの提供としておのれことを行っております。

- 1 建築確認・検査業務
- 2 住宅性能評価業務
- 3 住宅性能表示業務
- 4 住宅性能評価業務
- 5 長期優良住宅の認定に係る審査業務
- 6 低炭素建築物の認定に係る審査業務
- 7 構造計算適合判定業務
- 8 耐震診断・補強計画判定業務
- 9 住宅・建築の相談業務

<http://www.ibakenju.or.jp/>



茨城県建築センター

本館・支館・県庁内事務所いずれも
相談受付・無料いたします。
TEL: 029-968-8000 (TEL: 029-968-8000)
TEL: 029-968-8000 (TEL: 029-968-8000)

〒300-0001 茨城県水戸市水戸1-1-1
TEL: 029-968-7000 FAX: 029-968-7010

〒300-0001 茨城県水戸市水戸1-1-1
TEL: 029-968-8000 FAX: 029-968-8000

〒300-0001 茨城県水戸市水戸1-1-1
TEL: 029-968-2000 FAX: 029-968-2000

ニセ建築士をなくそう

国土交通省により発表されたニセ建築士は全て紙の免許証を偽造していました。(2012年7月11日・9月4日 報道発表)
依頼主との信頼関係を深めるため、カード型免許に切替え・提示しましょう。

(公社) 日本建築士会連合会・都道府県建築士会



大野ふれあいセンター（多目的ホール）



一般社団法人
茨城県建築士会

<http://homepage1.nifty.com/ishikai/>